

**東海大学医学部付属病院では、
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を
共同研究機関に提供して下記の臨床研究を行っています。**

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」にて医学部長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

気道異物による窒息に対する多施設前向き観察研究

【研究の目的】

下記の試料・診療情報等を利用し、気道異物による窒息で救急搬送された患者を対象に多施設共同前向き観察研究を行い、本邦における窒息の現状を把握し、応急手当や治療に関するエビデンスを提供することです。

【研究の対象となる方】

許可日～2023年2月28日 までの間に、
当院の救命救急科にて気道異物による窒息で受診された患者さんの受けた応急手当や治療、転帰などを解析し、検討を行います。

【利用期間（研究実施期間）】

許可日 から 2023年3月31日まで

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

- ・試料：なし
- ・診療情報等：患者背景（年齢、性別、既往歴、生活歴、ADL、介護度など）、プレホスピタルの情報（発生状況、時間経過、現場でのバイタルサイン、異物の種類、閉塞部位、心肺停止の有無、気管挿管の有無、アドレナリンの投与量など）、治療法（気管挿管、低体温療法）、転帰（発生30日後のCerebral performance category scale {脳機能カテゴリ}）など

【情報の提供先・提供方法】

上記の診療情報を電子的臨床情報収集システムに登録することで多施設での情報の収集を行います。研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。研究発表時にも個人情報を使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者】

- 研究代表機関：日本医科大学付属病院
- 研究代表者：救命救急科 助教 五十嵐 豊

【研究分担施設及び各施設の研究責任者】

研究分担施設	研究責任者
ニューメキシコ大学 救急部・助教	乗井 達守

【問い合わせ先】

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：5177）

研究責任者 救急科 土谷 飛鳥

問い合わせ担当者 救急科 兼島 博嗣